

2012年7月  
多チャンネル放送研究所  
所長 音 好宏

「多チャンネル放送の現状と課題2011  
～2011年多チャンネル放送実態調査より～」について

多チャンネル放送研究所は設立4年目を迎えましたが、設立以来一般社団法人衛星放送協会の正会員社の各チャンネルを対象に、「多チャンネル放送実態調査」を実施して毎年その調査結果を報告書に纏めています。更に2010年以来、多チャンネル放送の視聴者目線での調査も実施して各種報告書を発行して参りました。

今回は2011年3月に実施した実態調査に2011年7月から9月に掛けて実施した視聴者調査、「大学生はテレビをどう見ているかー将来ターゲットの現状分析～多チャンネル視聴実態調査2011～」の分析結果を踏まえつつ、多チャンネル放送事業において先進的な取り組みなどを行っている事業者や放送関係者にヒアリング調査を行うなどして、その研究をより深める形で本報告書を取り纏めました。報告書は当研究所のホームページ（<http://www.eiseihoso.org/labo/release.html>）に掲載しましたのでご活用頂ければ、と存じます。

以上